

令和8年度教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価報告書
(令和7年度対象事業)

吉野川市教育委員会

1. 点検・評価について	1－2
2. 事業の評価	3
(1) 評価方法	3
(2) 評価基準	3
(3) 総合評価	3
(4) 今後の方向性	3
3. 教育委員会の運営状況	4
(1) 令和7年度教育委員	4
(2) 教育委員会会議の開催状況について	4
(3) 教育委員会の定例会、臨時会開催日	5
(4) 教育委員会会議以外の活動	5－7
4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表	8
5. 自己点検評価シート(令和7年度実施事業)	9－23

1. 点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととなっています。

吉野川市教育委員会では、市民への説明責任を果たすことを目的に教育委員会の権限に属する事務の「点検・評価」を実施し、報告書としてまとめました。

1. 推進プログラムの体系

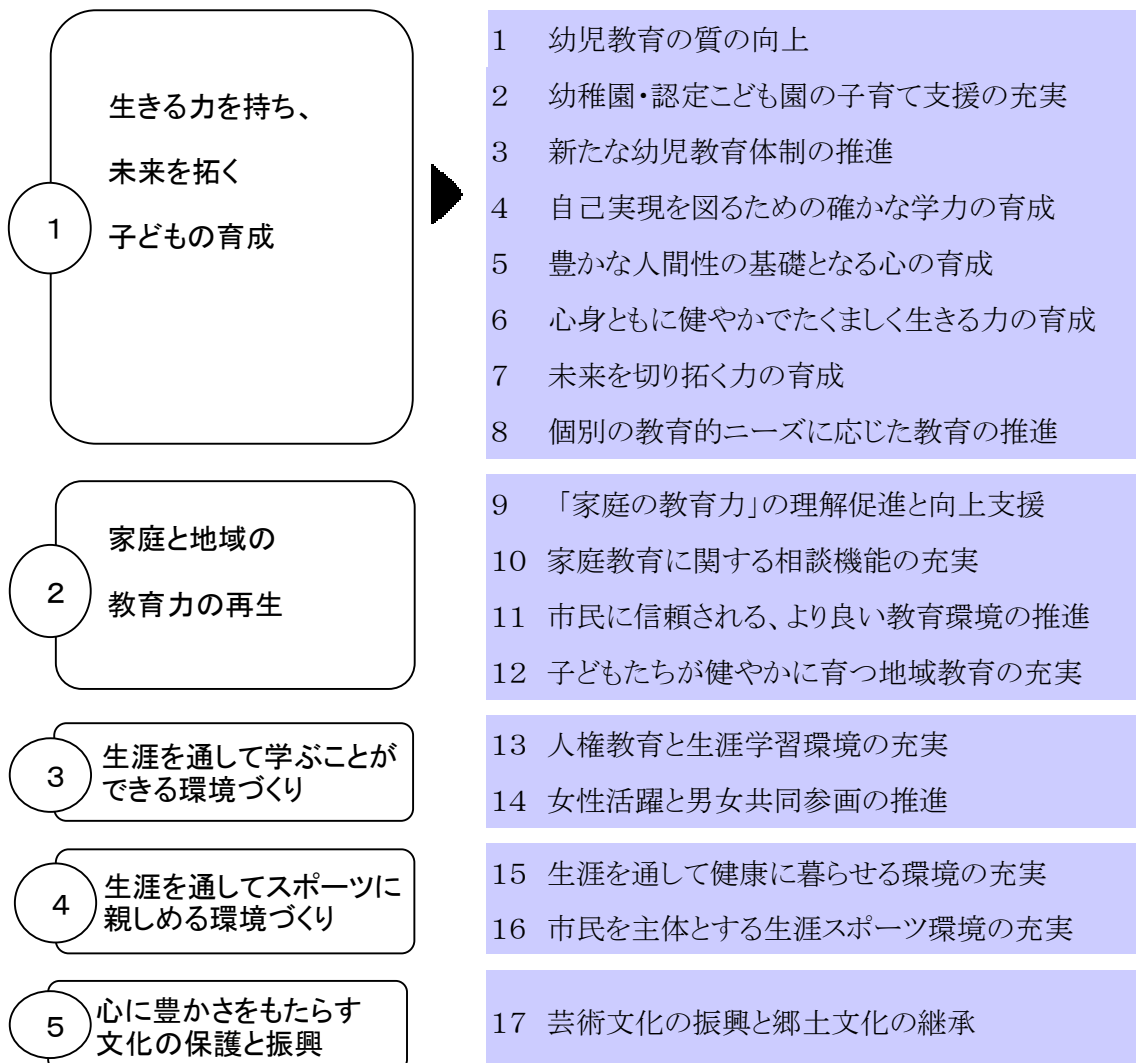
本計画の基本理念と5つの教育目標のもと、以下の体系で具体的な施策を推進します。

教育理念

- 学校・家庭・地域の相互理解と協力・連携の中、子どもたち一人一人に思いやりの心を育み、21世紀を生き抜く力の基礎を自ら培う学校教育の推進
- 地域資源を生かしながら、市民一人一人の豊かな人生をつくり、市の発展につながる生涯学習文化の創造

▼教育目標

▼推進プログラム



2. 事業の評価

(1) 評価方法

点検・評価方法として、教育委員会の権限に属する事務のうち、特に重点的施策とする主要な事業を対象とし、PDCAサイクルを活用した方法で評価します。

(2) 評価基準

① 必要性

現在の市民のニーズや社会情勢等に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

施策や運営方針、教育委員会で策定した「第2期吉野川市教育振興計画」の目標の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 効率性

事業コストがかかりすぎていないか、最少の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率性が図れないかを評価します。

④ 目標達成度

目標の達成状況の評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

(3) 総合評価

事業の各評価基準を勘案し、総合的に評価を行います。

総合評価のランク

A	予定どおり順調に事務執行し、具体的な成果が表れている。
B	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
C	目標とした成果が予定を下回っている。

(4) 今後の方向性

総合評価を勘案し、今後の方針を決定します。

また、事業の実施結果を踏まえ、今後の課題とその改善案を策定します。

3. 教育委員会の運営状況

(1) 令和7年度教育委員

(令和7年4月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	木屋村 雅信	R6.4.1-R8.3.31
教育長職務代理者 (任期R7.4.1-R8.3.31)	武知 李香	R5.11.26-R9.11.25
委 員	栗原 奈麻美	R3.12.24-R7.12.23
委 員	熊代 雄一郎	R6.11.28-R10.11.27
委 員	貞野 雅己	R6.12.22-R10.12.21
委 員	山口 奈美	R4.12.26-R8.12.25

(令和8年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	木屋村 雅信	R6.4.1-R11.3.31
教育長職務代理者 (任期R7.4.1-R8.3.31)	武知 李香	R5.11.26-R9.11.25
委 員	熊代 雄一郎	R6.11.28-R10.11.27
委 員	貞野 雅己	R6.12.22-R10.12.21
委 員	山口 奈美	R4.12.26-R8.12.25
委 員	栗洲 直美	R7.12.24-R11.12.23

(2) 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議は、毎月1回開催される定例会のほか、必要に応じて開催される臨時会があり、教育委員会の議決案件について審議を行うとともに、重要事項について教育委員会事務局から報告等を受けています。

令和7年度 開催回数

教育委員会定例会議	12回
教育委員会臨時会議	1回

(3)教育委員会の定例会、臨時会開催日

4月定例会	令和 7年 4月25日
5月定例会	令和 7年 5月26日
6月定例会	令和 7年 6月30日
7月定例会	令和 7年 7月31日
8月定例会	令和 7年 8月28日
9月定例会	令和 7年 9月25日
10月定例会	令和 7年10月24日
11月定例会	令和 7年11月25日
12月定例会	令和 7年12月23日
1月定例会	令和 8年 1月27日
2月定例会	令和 8年 2月18日
臨時会	令和 8年 3月 5日
3月定例会	令和 8年 3月25日

(4)教育委員会会議以外の活動

【学校訪問】

年 月 日	学 校 名
令和 7年 5月 8日	高越こども園・高越小学校 山川中学校
令和 7年 5月12日	西麻植小学校 鴨島東中学校
令和 7年 5月27日	川島小学校 市立川島中学校
令和 7年10月10日	知恵島小学校 鴨島第一中学校
令和 7年10月19日	鴨島東こども園・牛島小学校 森山小学校
令和 7年10月20日	飯尾敷地小学校 鴨島小学校
令和 7年10月27日	学島小学校 山瀬小学校

【入学式】

年 月 日	学 校 名
令和 7年 4月 9日	市立中学校、市立小学校

【卒業式】

年 月 日	学 校 名
令和 8年 3月 6日	市立中学校(4校)
令和 8年 3月17日	市立小学校(10校)

【総合教育会議】

年 月 日	内 容
令和 7年 1月24日	議題 1. 学校におけるタブレット端末の活用について 【出席者】 市長・総務部長・総務部次長・総務課係長 教育長・副教育長2名・教育委員4名・ 教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務係長

【教育表彰】

年 月 日	内 容	場 所
令和 7年12月13日	令和7年度教育表彰式 優れた成績をおさめた児童・生徒及び学校教育、社会教育等に顕著な功績をあげた者に対し、表彰を行う。 【表彰件数】 個人 16件 団体 1件	吉野川市役所

【その他主な行事・研修会等への委員の出席状況】

年 月 日	内 容	場 所
令和 7年 4月 3日	令和7年度徳島県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会 (教育長・教育委員2名出席)	徳島県立総合教育センター
令和 7年11月 5日	令和7年度徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会	オンライン
令和 8年 1月 3日	令和7年度吉野川市二十歳を祝う会	吉野川市鴨島公民館

4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表

No.	事務事業名	担当課	評価
1	学校施設維持管理事業	教育総務課	B
2	学校再編事業(鴨島東部地区)	学校再編準備室	A
3	市立中学校「英語検定」検定料補助事業	学校教育課	B
4	英語教育振興補助事業	同	B
5	特別支援教育支援員配置事業	同	B
6	帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業	同	B
7	スクールカウンセラー配置事業	同	A
8	教育支援教室の充実	同	A
9	スクールバス運行業務	同	A
10	奨学金貸与事業	同	B
11	ICT環境整備事業	同	A
12	デジタル教科書更新事業	同	A
13	中学校夜間学級就学援助支給事業	同	B
14	青少年育成補導センター	生涯学習課	A
15	人権教育推進事業	同	A
16	二十歳を祝う会開催事業	同	A
17	公民館活動推進事業	同	B
18	文化施設管理事業	同	A
19	文化財保護管理事業	同	A
20	文化芸術振興事業	同	A
21	全国大会参加者派遣補助事業	同	A
22	徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会	同	A
23	スポーツ団体活動支援・人材育成事業	同	A
24	体育施設の管理・運営事業	同	A
25	吉野川市民プラザ・多目的グラウンド維持管理・運營業務	同	B
26	美郷一周駅伝事業	同	A
27	吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業	同	B
28	ネーミングライツ制度導入事業	同	A
29	学校給食センター事業	学校給食センター	A

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校施設維持管理事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
1	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	施設整備室(施設整備係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市立小・中学校の児童生徒及び関係者が安全で快適に過ごせるよう、学校施設の維持管理を適切に行うことで教育環境の整備を図る。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	学校施設の長寿命化計画を考慮した上で、計画していた改修と年度途中に生じた緊急性の高い改修のバランスをとりつつ、学校施設の維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。

③ 実施結果 (DO: 推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	施設維持管理修繕実施	校	14
事業費	21,245 千円(R7決算)		
事業の実施内容	学校訪問時又は学校からの適宜報告等により、各学校の改修必要箇所等の集約、現場確認を行った上で、予算計上を行い、計画的な改修に努めた。また、年度途中で発生した不具合等には、当初の計画を鑑みつつ、優先順位をつけ、改修等を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	各学校からの改修要望箇所を全て対応することはできなかったが、計画的な改修に努め、年度途中の緊急性の高い修繕等にも柔軟に対応した。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	計画的な改修と併せて、重要度や緊急性の高いものを判断し維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。	令和8年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校再編事業(鴨島東部地区)	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
2	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	学校再編準備室(政策調整係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

事業の目的・内容	鴨島東部地区における学校の適正規模・適正配置に配慮しつつ、本市の将来を担う子どもたちにより良い教育環境を整えることを目的として、中・長期的な展望に立ち、小規模化している市立小・中学校を再編する。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	保護者、地域住民の意見や要望を反映するため、準備委員会において意見を伺い、学校再編に関する検討を進めるとともに、広報誌等で保護者、地域住民の方に丁寧に情報発信をしながら当該事業を進めていく。

③ 実施結果 (DO: 推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	鴨島東部地区の小中学校の再編	校	0
事業費	281 千円(R7決算)		
事業の実施内容	令和7年4月に設立した吉野川市鴨島地区統合準備委員会において、全体の委員会4回、総務・学校運営・通学・PTAの各部会を計19回開催し、他団体の事例を参考にしながら、学校名や制服、通学支援などの統合に関する重要事項について協議した。決定した事項は「統合準備委員会だより」の自治会回覧や広報よしのがわ、市ホームページなどにより、その都度保護者や地域住民へ周知を行った。		

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	学校名や制服、通学支援などの統合に関する重要事項について協議した結果について、保護者や地域住民に対して周知を行い、統合に向けた意識高揚を図ることができた。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	統合準備委員会の決定事項に基づき、統合校に通う生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、現行の2校と密に連携を取りながら滞りなく準備を進める。	令和8年度

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		市立中学校「英語検定」検定料補助事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
3	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市立中学校で行う「英検」を受検する中学生の保護者に対し、検定料の一部を補助し、受検者数を増加させるとともに、英語学習への取り組む意欲を高める。 補助額 4級:1,900円 3級:2,900円 準2級:3,600円 準2級プラス:3,600円 2級:3,600円
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、令和8年度までに55%以上を目指す。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R7実績
	CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合	%	42.3
事業費	387 千円(R7決算)		
事業の実施内容	公費受検者数(補助金交付者数)及び合格者数 2級:受検者2名(合格者1名) 準2級プラス:受検者1名(合格者0名) 準2級:受検者14名(合格者6名) 3級:受検者61名(合格者41名) 4級:受検者78名(合格者59名)		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	令和7年度に掲げた指標に到達しなかったため。
-----------------------	---	-------	------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
改善	各校に配置したALT等を活用し、英語の技能向上に努めるとともに、令和8年度のCEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、55%以上を目指す。	令和8年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		英語教育振興補助事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
4	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市立小中学校児童生徒の国際理解の深化を図るため、吉野川市小中連携英語教育研究会が実施する英会話等の体験活動に要する経費に対し、補助する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	補助事業内容について適正に審査する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R7実績
	イングリッシュキャンプに参加し、英語への興味・関心を深めた児童の人数	人	38
事業費	270 千円(R7決算)		
事業の実施内容	小中連携英語教育研究会で企画した小学生5・6年生対象、中学生対象のイングリッシュキャンプ経費に対し、それぞれ補助を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	概ね順調に執行した。
-----------------------	---	-------	------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	引き続き補助事業内容について適正に審査する。	令和8年度

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		特別支援教育支援員配置事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
5	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市内の市立小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習の面で特別な支援を必要とする児童生徒に対し食事・排泄・教室移動の際の補助等日常生活動作の介助や、学習活動上のサポートなどを行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	業務に必要な知識技能等について研修を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R7実績
	特別支援教育支援員配置人数	人	18
事業費	49,650 千円(R7決算)		
事業の実施内容	18名を雇用し、日常生活・学習面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行った。また、新規雇用の支援員に対しては、業務に必要な知識や心構え等についての研修も実施した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	特別な支援が必要な児童生徒は増加しており、必要性はますます高まっている。今年度は、市立小・中学校に対して昨年度より2名多い18名を配置することができたが、各校の希望人数には達していない。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	職務内容から、適切な人材の確保が課題であるため、人材の確保に努め、希望する学校への適切な配置を目指す。	令和8年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
6	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	各小・中学校に転入してきた帰国・外国人児童生徒に日本語指導が必要な場合、各学校からの要請により、県を通じて日本語支援員を学校に派遣する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒について把握し、引き続き学習支援を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R7実績
	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒への支援の割合	%	88
事業費	369 千円(R7決算)		
事業の実施内容	各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒が在籍しているか調査。その後、日本語指導が必要な児童7名に対して日本語講師を派遣し、一人あたり約25回の支援を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	年度初めに調査をしているが、学年途中での転入者があり、日本語指導が必要であるにも関わらず、予算面で十分な対応ができなかった。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	今後も学校と密に連携を取り合い、もれのない支援を行う。ただし、令和7年度から対象児童が8名に増えたこと、また近年海外からの転入者が増えている現状から、後の需要増が見込まれ、コストの増加が考えられる。	令和8年度

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		スクールカウンセラー配置事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
7	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	5 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要（PLAN：計画設計）

事業の目的・内容	小学校担当のスクールカウンセラー(臨床心理士・公認心理師)を配置し、不登校やいじめ問題等に対応するため、個に応じた教育相談・就学相談及び学校支援体制の充実を図る。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	不登校やいじめ問題、友人関係等、児童の多岐にわたる心のケアを相談や助言支援を通じて対応する。

③ 実施結果（DO：推進）

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	吉野川市スクールカウンセラー(小学校)	人	2
	年間相談件数	件	1,248
事業費	3,976 千円(R7決算)		
事業の実施内容	スクールカウンセラーが、各々の実情に応じた児童の心のケアや悩み相談など、個の状況に応じた教育相談を行った。		

④ 事業の評価（CHECK：点検・評価）

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	外部の専門機関へ行かなくても学校で臨床心理に専門的な知識・経験を有する学校外の専門家を無償で活用でき、課題解決に貢献している。また、教職員・保護者からの相談も多く、円滑な学級運営等に寄与している。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性（ACTION：改善）

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	不登校、いじめ問題等の要因が複雑化・多様化している中で、初期対応が遅れたり、適切な対応がなされない場合などは、問題がより深刻化する事例が多くなってきている。今後も、個に応じた教育相談を行いながら、こども園と小・中学校連携・接続の観点から、早期からの継続的な相談・支援体制を築いていく必要があり、スクールカウンセラーとの連携は不可欠である。また、教職員からの相談回数が多数を占めており、昨今必要とされている教職員のメンタルヘルス対策としての役割も期待される。	随時

① 基本情報

事業番号	事務事業名		教育支援教室の充実	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
8	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	5 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要（PLAN：計画設計）

事業の目的・内容	不登校児童生徒にとって居場所となる教室を開設して、相談員、指導員、スクールカウンセラー(臨床心理士)を配置し、児童生徒や保護者等の相談に応じるなど、不登校やいじめ問題等の早期解決に向けて、適切かつ迅速に対応する。さらに、個に応じた教育相談や基本的な生活習慣の指導及び学習指導等により、学校生活への復帰(進学)支援と、復帰後のフォローアップを行う。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	様々な理由から増加している不登校の児童生徒を、各校の対応職員や関係機関と連携し、適応指導教室につなげ、在籍児童生徒の進学・学校復帰を支援する。

③ 実施結果（DO：推進）

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	通室児童生徒数	人	22
	相談件数(来室相談・電話相談・学校訪問)	件	37
事業費	6,969 千円(R7決算)		
事業の実施内容	通室児童生徒に対し、相談員及び指導員が個々に教育相談や基本的な生活習慣の指導及び学習指導等を行うことにより、進学支援や学校への復帰及び復帰後のフォローアップを行った。さらに月1回程度カウンセラーの相談日を設けており、より専門的な相談対応を行った。		

④ 事業の評価（CHECK：点検・評価）

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	不登校の児童生徒にとって、学習の場は必要不可欠であり、不登校の児童生徒の課題解決に寄与しているといえる。また、市立小中学校生を対象としているため、中学3年生の進路を指標とすることは妥当であり、達成されている。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性（ACTION：改善）

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	不登校児童生徒の解消は、喫緊の課題である。今後もさらに各校の不登校児童生徒対応教員や関係機関と連携しながら、各校に在籍する不登校児童生徒を教育支援教室につなげていく。また、カウンセラー(臨床心理士)の活用についても、学校や関係機関へリーフレット等配付により周知・啓発を積極的に行いながら、引き続き在籍児童生徒の進学、学校復帰を支援するために事業を継続する必要がある。	随時

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		スクールバス運行業務	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
9	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	4 自己実現を図るための確かな学力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	①高越小学校に通学する、美郷区域内の児童及び山川区域内の一部児童 ②山川中学校に通学する、美郷区域内の生徒 上記対象者について、遠隔地からの通学に係る移動手段の確保(安全な登下校の確保)
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	市が所有する6台のスクールバスを運行し、対象となる児童生徒の遠隔地からの通学について、登下校時の移動手段の確保を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	高越小学校利用者数	人	74
	山川中学校利用者数	人	9
事業費	15,516 千円(R7決算)		
事業の実施内容	スクールバス6台の運行に係る業務委託、整備管理を実施		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	関係者間(市教委、運行業者、学校、利用児童生徒の保護者)の連携、情報の共有に努め、安全な登下校の運行を実施した。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	運行業務は3年間の長期継続契約により実施しているが、社会事情に対応するため、次回更新時に契約期間等に係る検討が必要。	随時

① 基本情報

事業番号	事務事業名		奨学金貸与事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
10	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市奨学生として認定された者に対し、奨学金を貸与する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	経済的理由により修学が困難な者に対し、大学進学のための奨学金を継続する。市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会を確保する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	貸与人数	人	3
事業費	840 千円(R7決算)		
事業の実施内容	市発行の広報誌・ホームページなどを活用し、制度の活用(貸与申請等)に関して広く周知を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	経済面での課題を支援している。
-----------------------	---	-------	-----------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	大学等進学のための奨学金について、本市教育環境の充実のためにも継続し、修学の機会を確保する。	随時

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		ICT環境整備事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
11	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市立小・中学校において、充実したICT環境で教育が行えるように、ICTを活用した教育の推進を図る
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	①ICT機器の整備や保守維持管理を行う。(ハード面での支援) ②ICT支援員によるサポート等を行う。(ソフト面での支援)

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	ICT支援員	人	3
事業費	199,622 千円(R7決算)		
事業の実施内容	学校でのICT教育上必要となるICT関係機器(パソコン・タブレットPC・サーバー等)やネットワーク機器の管理・運用保守・更新等。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	児童生徒の「生きる力」を育む教育環境を整備し、教育の情報化を図ることは、本市教育振興計画にも掲げられている情報教育の推進及び学校教育の充実にもつながる重要な事業である。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	GIGAスクール構想に基づき児童生徒用タブレット端末が1人1台導入されたことで、オンライン授業や授業用動画等ICT機器を活用した教育が急速に増加している。引き続き、国のICT関連方針に沿った環境を提供できるように必要な機器・機能・人材を確保し、事業の改善・効率化を図る。	随時

① 基本情報

事業番号	事務事業名		デジタル教科書更新事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
12	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	新教育指導要領に基づき発行される教科書に準拠した指導用デジタル教科書の導入及びそれを活用したより効果的な授業の実施。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	活用実績を調査・確認しデジタル教科書のライセンス更新や要望があった教科の新規導入を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	【小学校】主要5教科(国語・算数・理科・社会・英語)の必要学年への導入	学年	6
	【中学校】主要5教科(国語・数学・理科・社会・英語)の必要学年への導入	学年	3
事業費	7,634 千円(R7決算)		
事業の実施内容	小・中学校からの導入要望を確認し、新規の指導者用デジタル教科書を導入した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	ICT機器を活用した教育の推進には欠かせないものであり、導入・活用による効果的な授業の実施に繋がる。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	児童・生徒1人1台端末の配備が完了し、今後さらにICT化を進めるうえで必須。また、国としてもICT化を推進しており、今後学習者用(児童・生徒用)デジタル教科書の導入に際し、国庫補助事業となる可能性があり、今後も国の動向を注視する必要がある。	随時

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		中学校夜間学級就学援助支給事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
13	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市内に住所を有し夜間中学に通う生徒のうち、経済的理由により、就学困難と認められる生徒又は生徒の保護者に対して、教材費など学習に係る費用を支給することにより、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援し、将来的に自立を促す。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、援助費を支給する人数の目標を3人とする。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R7実績
	中学校夜間学級就学援助受給者	人	1
事業費	27 千円(R7決算)		
事業の実施内容	夜間中学校(県立しらさぎ中学校)に通う生徒に校外活動費、学用品費、通学用品費を支給した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	文部科学省において全ての都道府県・指定都市に少なくとも一つの夜間中学が設置されることを目指し、その設置・充実に取り組んでいて、事業の必要性が増しているから。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	夜間中学(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援する。	随時

① 基本情報

事業番号	事務事業名		青少年育成補導センター	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
14	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力再生	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	青少年の非行防止及び環境浄化等について適切な措置を講じ、心身共に健全な青少年の育成を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	関係機関との連絡体制を強化し、青少年の健全な成長を推進する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R7実績
	定期街頭補導	回	毎日
	教育相談	件	44
事業費	1,482 千円(R7決算)		
事業の実施内容	街頭補導に加え、警察や学校から情報提供のあった不審者情報に対し、児童・青少年の安全確保のため見回り活動を行った。市内の駅等に白ポストを設置し、有害図書類の回収を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	昨年より減少したものの、不審者情報が多数寄せられており、学校や警察と情報連携して児童・生徒の登下校に合わせて見回りの活動を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	R7年度の街頭補導2件。不審者情報を考慮しつつ、毎日の巡回活動について、より計画的に行う必要がある。	令和8年度

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		人権教育推進事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
15	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 生涯を通して学べる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	人権教育及び子ども会活動を通じ、人権意識向上と人権問題解決に資する学力の充実を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	小・中学校及び教区集会所での人権学習会の支援。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	人権学習会実施	箇所	5
	人権作文集「なかま」の発行	部	3,000
事業費	4,125 千円(R7決算)		
事業の実施内容	小・中学校から人権についての作文等を募集し、作文集にして全生徒や関係機関へ配布した。教育集会所等で人権学習会を開催し、人権学習を推進した。各種研修会や集会に参加した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	人権作文集「なかま」では、児童が実際に身の回りで起こった人権問題について感じたこと等を発表することで、児童の人権意識の向上に寄与している。人権学習会では、人権問題に向き合うために必要な学力の向上や意識等の醸成を図ることが出来た。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	人権学習会では、教科学習だけではなく人権問題解決に向かう主体的な意欲と実践力を養うような内容とする。	令和8年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		二十歳を祝う会開催事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
16	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	7 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	二十歳を節目に成人として社会的責任を自覚し、これまでに育んでくれた人々や社会に感謝するとともに、市民が二十歳を迎える方を祝い励ます場として行う。二十歳を迎える対象者の中から実行委員を募集し、企画、運営を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	電子申請での予約やバーコードでの受付など参加者の利便性重視、事務手続きの簡素化、会場の安全確保。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	参加人数	人	269
	※対象者 293人		
事業費	795 千円(R7決算)		
事業の実施内容	電子申請での予約やバーコードでの受付、会場の安全を確保しながら式典を実施。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	電子申請での予約開始から当日まで大きなトラブルなく、二十歳の門出を祝うことができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	今後も引き続き効率的な運営に務める。	令和9年1月

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		公民館活動推進事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
17	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 生涯を通して学べる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	13 人権教育と生涯学習環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	地域住民にとって身近な学習拠点として、また交流の拠点とする。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	地域の交流活動が停滞しないよう、ニーズに合わせた講座を開催するなど工夫した運営を展開する。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R7実績
事業実績・成果(指標)	公民館利用者数	人	125449
	公民館講座数	講座	281
事業費	101,210 千円(R7決算)		
事業の実施内容	各種講座、公民館祭の開催など学習の場の提供や地域の交流拠点として生涯学習を推進した。鴨島と飯尾敷地公民館は指定管理者制度で運営し、鴨島公民館は新規事業者が落札し、指定管理料2,600千円減額した。川島公民館分館30館のうち2館から廃止の相談があり、廃止に向け手続きを進めた。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	各種講座、公民館祭の開催など学習の場の提供や地域の交流拠点として生涯学習を推進することができたが、有料講座を実施している文化施設や民間と競合しないように検討する。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	地域の社会教育、生涯学習の推進や住民の交流の場として公民館活動は必要であるが、有料講座を実施している文化施設や民間と競合しないように検討し実施する。	令和8年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化施設管理事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
18	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	指定管理者制度にとらわれず、文化施設の経費削減と施設運営面のサービス向上により利用者の利便性の向上を図る。指定管理期間は、文化研修センター:R3.4.1~R8.3.31、美郷ほたる館:R7.4.1~R9.3.31となっている。アメニティセンターは令和4年度から直営化し山川公民館と統合運営を実施している。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	施設が老朽化によるコストが増加している中、講座内容の創意工夫や経費削減と施設運営のサービス向上を図り、利用者を増やす。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R7実績
事業実績・成果(指標)	文化研修センター利用者	人	75,790
	アメニティセンター利用者	人	8,688
	美郷ほたる館利用者	人	8,768
事業費	39,845 千円(R7決算)		
事業の実施内容	指定管理者制度によるモニタリングを行い、事業内容の評価を行った。指定管理者制度を継続するか、指定管理施設を対象に再検証を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	文化研修センター及び美郷ほたる館は引き続き指定管理者制度を継続し、利用促進に努める。アメニティセンターは、市主催行事による使用料無料の運用の影響から使用料収入の増加は期待しにくい状況である。本施設が果たしている役割を考慮しつつ、最低限の費用で最大の効果が得られるよう運営に努める。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
・現状維持	施設の老朽化の改修を順次進めていく。美郷ほたる館は改修内容だけでなく施設のあり方を検討し、近隣施設と広域的な活用を検討する。	令和9年度
・現状維持	施設の老朽化改修を引き続き順次進めていく。	令和10年度

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化財保護管理事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
19	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市内の文化財の保護・管理及び伝統芸能(無形指定文化財)の伝承を支援し、文化財を活用して文化観光の推進を図る。潜在化し埋もれた保護すべき未指定文化財の指定を推進し、文化財の保護と活用を行い、文化観光の推進を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	本市の歴史の証であり、市民の財産である文化財を後世に伝えていくために、保護・保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	文化財新規指定件数(国県市指定文化財)	件	0
	県指定「江川の湧水水温異常現象」周辺清掃活動参加者11回実施	人	1,059
	国指定「船窪のオンツツジ群落」整備活動参加者3回実施	人	45
	山川町内市指定古墳・史跡清掃活動参加者5回実施	人	45
	日本遺産「四国遍路」藍のふるさと阿波」普及啓発イベント来場者数	人	2,562
事業費	2,371 千円(R7決算)		
事業の実施内容	・国指定天然記念物「船窪のオンツツジ群落」の保護管理計画に基づく保護・管理 ・国指定天然記念物「美郷のホタルおよびその発生地」における美郷内開発に係わる文化庁への申請窓口 ・指定文化財周辺の草刈り、剪定、修繕、現況調査、整理、案内・説明看板の設置・修繕 ・(市指定)西川田の大クスの伐採 ・伝統芸能伝承団体への活動支援 ・登録有形文化財候補の調査 ・日本遺産「藍のふるさと阿波」周知啓発		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	文化財は、自然や歴史教育・観光資源として、市民はもとより、県民、国民の財産である。文化財保護法の趣旨に沿い、本市の歴史の証である文化財を後世に伝えていくため、保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成が図れている。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
・現状維持	・日本遺産「藍のふるさと阿波」を文化観光に活用する観点から、本市に関連する藍についての調査研究を進める。さらに、藍の歴史や文化をテーマとしたサブストーリーやサイドストーリーを発信し、観光資源としての価値向上に努める。 ・未指定文化財について継続的な調査を行い、新たに保護すべき文化財の指定を進めることで地域の歴史的価値を顕在化させる。	令和12年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化芸術振興事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
20	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	文化関係団体の活動を支援するとともに育成を図る。文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	補助金により各団体の活動を支援することで、文化芸術の振興を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	吉野川市芸術祭 総合美術展、芸能祭、合同茶会・いけばな展 来場者数	人	3,049
	日本語教室開催回数(鴨島44回、山川46回)(鴨島35名、山川16名)	回	90
	国際交流協会:交流事業参加者数(11回実施)	人	284
事業費	1,613 千円(R7決算)		
事業の実施内容	文化芸術振興活動、市芸術祭開催事業、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行うことができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
・現状維持	・学校等教育機関との連携を強化し、子供や学生が参加する特色ある企画等を開催。 ・従来のポスターやチラシによる情報発信に加え、SNSや地域メディアを活用した情報周知の仕組みを確立し、より幅広い層へのリーチを実現。 ・世代間の共同制作プロジェクトや親子で参加可能なイベントを実施。	令和10年度

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		全国大会参加者派遣補助事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
21	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	全国大会へ出場する者及び保護者の負担を軽減することでスポーツ及び文化の振興を図る。 個人の場合 10,000円 団体の場合 上限10万円(10人までは1人につき10,000円)
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	全国大会出場者の増加に対応できるよう事業推進を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	補助件数	件	54
事業費	850 千円(R7決算)		
事業の実施内容	関係者等に制度の概要について説明を行い、適正な申請に対して補助金を交付。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	全国大会出場者全員に補助金の交付し、スポーツ振興を図れた。
-----------------------	---	-------	-------------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	補助金を申請している全国大会出場者全員に補助金交付ができている。引き続き事業を継続し、スポーツ等の振興を図る。	年間

① 基本情報

事業番号	事務事業名		徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
22	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	選手及び指導者の育成を行い、吉野川市代表として徳島駅伝に出場し、地域の活性化を図る。 合同練習会・合宿等の強化を行い、徳島駅伝に出場する。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	学生選手の育成と強化を図り、チーム力を向上させ上位入賞を目指す。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	総合順位	位	7
事業費	3,400 千円(R7決算)		
事業の実施内容	年間を通して選手の育成と強化に取り組み、昨年に引き続き入賞を果たすことができた。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	選手育成・強化の成果が表れ入賞することができた。
-----------------------	---	-------	--------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	年間を通して練習を継続しており、中学・高校生の強化育成も図れている。今後も継続して選手の強化育成を図る。	年間

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	スポーツ団体活動支援・人材育成事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
23	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	生涯学習課(社会体育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	スポーツ団体の活動を支援するとともに競技者及び指導者の育成を図る。 市民の健康増進を推進し、市民相互の交流を図ることを目的とする。 市民体育祭・各種スポーツ大会の開催支援・スポーツ少年団活動補助・スポーツ推進委員設置
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	市民がスポーツに触れる環境づくりに努め、競技力向上と健康増進を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R7実績
事業実績・成果 (指標)	スポーツ協会加盟団体	団体	19
	市スポーツ推進委員	人	25
事業費	6,475 千円(R7決算)		
事業の 実施内容	スポーツ協会加盟団体に活動補助を行い、市民体育祭記念行事を実施。また、スポーツ優秀者を対象とした表彰を実施。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	19加盟団体に活動補助を行い、各スポーツ団体が積極的に活動することで、市民の健康増進、地域活性化に繋がった。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	スポーツ団体の活動を支援することで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることができるよう環境づくりの推進に努める。	年間

① 基本情報

事業番号	事務事業名	体育施設の管理・運営事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
24	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	生涯学習課(社会体育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市民の運動活動の場所を提供し、スポーツの振興を図る。 体育施設の使用許可・管理及び維持修繕を行う。
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	市民が快適に利用できるよう施設の整備を行い、スポーツに親しむ環境づくりを進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R7実績
事業実績・成果 (指標)	利用者数	人	155,229
事業費	23,862 千円(R7決算)		
事業の 実施内容	定期的に施設を巡回し、老朽化している施設の修繕を行い維持管理に努める。 利用者からの意見を参考に利用方法の改善を図る。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	定期的に施設を巡回し、可能なところから順次修繕を行い利用者の満足度向上を図った。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	市民が安心してスポーツを行えるよう施設を整備し、快適な環境を提供する。 施設改修も優先順位をつけ避難所に該当する施設から計画的に進めていく。	年間

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		吉野川市民プラザ・多目的グラウンド維持管理・運営業務	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
25	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	まちなかの賑わい創出を図るとともに、文化・芸術交流の充実強化やコミュニティ形成の促進、市民の健康増進とスポーツ振興に寄与することを目的とする。施設の維持管理・運営に関する業務。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	管理者と連携し市民プラザの良好な維持管理と運営に取り組む。PR活動も行い利用者数の増加を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R6実績
	市民プラザ利用者数	人	143040
	多目的グラウンド利用者数	人	91,106
事業費	85,524 千円(R7決算)		
事業の実施内容	管理者と連携し維持管理と運営業務に努めた。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	指定管理者と連携しながら、利用者のニーズに対応する運営と、安全な施設管理に努めた。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	指定管理者と連携しながら、利用者のニーズに対応する運営と、安全な施設管理に努めた。	年間

① 基本情報

事業番号	事務事業名		美郷一周駅伝事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
26	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市の活性化と地域住民の交流を図る。 一般の部(40チーム)女子の部(10チーム)を募集し、美郷地区内を5区間で襷をつなぎ駅伝を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	参加チームが増えるよう運営内容を再検討し、大会の実施に向けて事業を進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	一般の部	チーム	26
	女子の部	チーム	3
事業費	200 千円(R7決算)		
事業の実施内容	参加者の安全確保と中継所の混雑解消のため中継所の場所を変更した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	長年続いている恒例の駅伝大会であり、県内のマラソン愛好者からもニーズが高い。また、地域活性化と市民の健康増進にも繋がる事業である。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	全国的にマラソン人口が減っている中、参加者を増やし大会を継続していくために運営方法についての創意工夫が必要である。	12月

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
27	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市のPR及び交流人口の増加を図る。 鴨島運動場を発着点とするハーフマラソン・10km・3kmの部を開催。
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	参加者が増えるよう運営内容を再検討し、大会の実施に向けて事業を進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	申込者数	人	542
事業費	2,240 千円(R7決算)		
事業の 実施内容	10kmの部門を追加し、大会のターゲット層を広げ、より幅広い人々が参加しやすいよう改善した		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	参加者の満足度向上に努めたが、全国的にマラソン人口が減少しているため参加者は横ばいである。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	全国的にマラソン人口が減る中、大会を継続していくために運営方法についての創意工夫が必要である。近隣の主要なマラソン大会の開催日等を確認し開催日を決定する必要がある。	令和8年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		ネーミングライツ制度導入事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
28	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市の財政状況が厳しい中、施設の維持管理を継続するためにネーミングライツ制度を推進し財源の確保に努める。
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	パートナー企業との連携を取り、施設を多くの市民に利用してもらいネーミングの知名度を上げ、今後もネーミングライツを継続していく。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	施設数	施設	2
事業費	命名権料(年額) 市民プラザ3,300千円 多目的グラウンド1,100千円 千円(R7決算)		
事業の 実施内容	吉野川市民プラザ・吉野川市多目的グラウンドの施設命名権の契約を更新した。(市民プラザ3年、多目的グラウンド5年)		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	ネーミングライツパートナー企業と契約を更新できたため。
-----------------------	---	-------	-----------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	引き続き契約を更新してもらえるよう魅力的な施設づくりに寄与していく。	年間

自己点検評価シート(令和7年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校給食センター事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
29	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校給食センター
		推進プログラム	心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	学校給食を生きた教材として、食に関する指導に活用する。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	事業の目的を達成するために、創意工夫を加える。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R7実績
	給食提供日数	日	195
	食育授業回数	回	120
事業費	384,974 千円(R7決算)		
事業の実施内容	食に関する指導に関して「ふれあい食体験事業」、「教科等における指導」、「給食時間における指導」を実施した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	前述の事業の目的を達成するため、事業の実績が得られたため。
-----------------------	---	-------	-------------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	事業の目的を達成するために、創意工夫を加える。	令和8年度